



秋田 ハタハタ不漁深刻



ハタハタの産地で有名な秋田県では深刻な不漁に見舞われています。1970年代半ばまで年間1万トンの漁獲量から急激に減少。92年から3年間の禁漁を経て、資源の回復傾向がみられたが、2010年ごろから再び低迷。現在は6トンと過去最低となっています。過去と違い、乱獲によるものではなく、海水温の上昇が著しく、資源の再生産を阻んでいるとされています。禁漁の必要性が高まっていますが、すぐ効果が表れるかどうか。秋頃には資源復活への対応が決まるそうです。

ウナギ 安値でも販売不振?!



シラスウナギが19年ぶりの豊漁になり、一時、池が足りなくなる程、潤沢な池入れだったそうです。仕入れコストが抑えられ、国産活ウナギは前年同期でも約4割安で推移していると言われています。しかしながら荷動きが鈍い状態が続いています。生産コストは上昇を続けているなか採算割が出る厳しい状況とも。値下げしてもそれ以上に物価高で消費意欲が下がっているとの見方も。今年の丑の日は7月26日(日)、最需要期に向け一層のアピールを!

入荷状況



7、8月の主な魚

魚種
★マグロ
トビウオ
★タチウオ
岩カキ
★サザエ
★コソクラ(ブリの幼魚)
スルメ、アカイカ
★カマス



7月から8月一杯は底引き網が禁漁となり、刺し網や定置網主体の入荷になります。

●メジ 全国各地から入荷。有名なのは山陰の巻き網漁ですが、この時期は石川、富山の定置網で漁獲されます。

●トビウオ 入荷あり。刺身、フライなどに。

●コソクラ 地物は遅れて入荷の見込みです。煮付けやフライなど。

●タチウオ これから本格的に入荷が見込まれます。刺身、焼き物、煮付けに。

●カキ、アワビ、サザエ等 ハイシーズンです。今のところ順調に入荷。

●アカイカ、スルメイカ 九州方面、地物いずれも入荷少ない。スルメイカも入荷少ない。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。